

文化財 NEWS

こちらの QR コードから、閲覧・ダウンロードができます→



文化財パトロール ～ 南会津町 ～

7月3日(木) 南会津町において、福島県指定文化財である「旧修験川島家所蔵修験資料(川島)」、「旧猪股家住宅(奥会津博物館)」「伊南の歌舞伎衣裳と道具(奥会津博物館伊南館)」の文化財パトロールを行いました。

きゅうしゅげんかわしまけしよぞうしゅげんしりょう

旧修験川島家所蔵修験資料

修験とは、山を神聖な場所として、自然の中で修行を行う日本独自の宗教のことです。「山伏(やまぶし)」と呼ばれる修行者が知られています。

修験である川島家は、南会津町の川島教育長の生家です。もとは南照寺と称され、五穀豊穡や安産の祈禱を行っていました。南会津地方の民間信仰を示す貴重な仏像や法具など65点が県文化財に指定されています。



きゅういのまたけじゅうたく

旧猪股家住宅

18世紀前半に建てられたものと推定される、田島地域に現存する最も古い民家です。18世紀前半というと、江戸時代「享保の改革」の頃です。

塩江から現在の奥会津博物館の敷地に移築復元しました。内部の大部分が土間となっており、当時は作業場として使われていたようです。

い な か ぶ き い し ょ う どう ぐ
伊南の歌舞伎衣裳と道具

江戸時代の後期、南会津町西部では農民の間で娯楽として歌舞伎が盛んに行われていました。衣裳と道具は、麻の仲買等で財をなした旧伊南村の平野家が近隣の一座に貸し出していたものです。

233点が県文化財に指定され、奥会津博物館伊南館に収蔵されています。

当時、麻やタバコなどの商品作物が盛んに栽培されていた南会津西部は、歌舞伎を楽しめるような裕福な家庭が多かったそうです。



<南会津町の文化財(南会津町教育委員会発行)より>

